

令和3年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) りんでん認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の現状として子ども主体の保育を目指し、また1日の中で園で過ごす時間が長い子どもたちが増えている中で、子どもたちの心情を大切に安心して過ごせるような環境づくりを心掛け、日々の保育に取り組むようにしている。</li> <li>・課題としては子ども主体の保育をするために自由遊びやミーティングの中からどのような所に視点を置き、また子どもの声をひろっていく保育が難しく摸索中である。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活全体を通し成長するうえで年齢にあった保育をしっかりと丁寧に行い、成長の土台づくりをし、5歳児へとつなげていけるようにする事や子どもたちが自主的に色々な事に取り組みたいと提案し、自分たちで考え実現できるような環境づくりを行い、子ども主体の保育ができるようにする。</li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児クラスでは特にアタッチメントを大切とし、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら保育を進めている。そのうえで成長にあった指先あそびを充実させたり、コーナー遊びに力を入れ、他児との関わりを増やしていけるような環境づくりを心がけたりしてきた。</li> <li>・幼児クラスでは、朝の自由遊びの時間を増やし、遊びに夢中になれる時間をつくりその中で子どもたちが取り組み続けたアリの巣実験を行ったり段ボールを使用して家を作ったり実際にすべる事ができるすべり台を作ったり、子ども達で何日も日にちをかけて試行錯誤し取り組んだ。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年共に朝の自由あそびの時間を取り込んだ事で、子どもたちがどのような事に興味を持ち、子どもたち同士の関わりなどよく観察する事ができるようになった。また子どもたちは、朝の活動やその後の保育に集中して取り組む姿が見られるようになった。</li> <li>・子ども主体の保育ができるよう心掛けた事により少しずつではあるが、自ら進んで意見を出す姿が見られ、友だちと意見を交わして自分たちなりの案を生み出す事ができるようになってきた。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち本来の生き生きとした姿を求めて、「子ども主体の保育」を課題とした取組・研究を今後も是非とも継続していただきたい。そのためにも、子ども一人ひとりの発達を理解すること、興味・関心を引き出すための環境づくりなど、取り組んだ内容についての共通理解をさらに前進させていただきたい。HPなどで、日々の子どもの活動の分かりやすく見える化しておられるので、保護者への周知・啓発にも努力されていることがわかる。</li> </ul>